

地域おこし協力隊交流会(平成 29 年度)

1. 趣旨

地域おこし協力隊の地域間の交流、情報交換、ネットワークづくり及び、市町村担当者の情報交換の機会の提供

2. 日時・場所

平成 29 年 8 月 22 日(火) 13:30~17:00 松本合同庁舎

3. 対象及び参加者数

参加対象:地域おこし協力隊、専任の集落支援員、協力隊を導入している市町村の担当職員
参加人数: 68名(28市町村) ※うち行政職員 10名

4. 内容

- ① 県内の地域おこし協力隊の取組について
- ② 地域おこし協力隊 OB・OG によるトークセッション
任期終了後、地域に定着した隊員 OB・OG から事例紹介
(長野市、小海町、飯島町、箕輪町、小谷村の隊員 OB・OG 6名)
- ③ 意見交換・座談会
協力隊 OB・OG の進行により、課題や情報を共有
- ④ まとめ

(当日の様子)



5. 参加者からの感想・意見(参加者アンケートより)

- 協力隊として担当している期間だけでなく、「自分がいなくなっても取組が継続できるようにするには」という点に重点を置いていた OB の方々の考え方が刺激になった。
- 現在、不安や悩みは特にないが、さまざまな人と話すことが出来る場は大切。
- OB の事例を聞く時間がもっとほしい。
- 意見交換した事例や共通課題については県と市町村で共有してほしい。
- 協力隊と行政側との交流する仕組みがもっと必要。